

生長の家ブラジル伝道本部の環境政策の原則と方針

1930年に創立されて以来、生長の家は天地一切のものに感謝するというみ教えに基づいて、天地の全てのものを神の生命として礼拝する生き方を普及してきました。

地球の環境問題は重大な問題であり、その影響の範囲はこの惑星全体に及び、未来の各世代にも及ぶものです。

今日われら人類に対して要求されることは母なる自然の恩恵に対する感謝の心と、種々の生物、山や川や草木、鉱物、エネルギーその他全てのものの形に現れている神の生命を礼拝する宗教的感情であります。

この宗教的感情を実際の日常生活に応用することこそ、地球の環境問題を解決する鍵だと生長の家は信じています。

生長の家は、宗教生活の日常的な実施として母なる自然を礼拝し重んじて「地球のサステナビリティ」に貢献するとともに、その宗教的感情をマスコミ及び全ての行事で宣布し、「美しい地球を」後世に残すことを確約します。